





くっているあってきたけれ、あく一ついいできれ 一天人多人是仍是好人大切了中的好人人 あうてやきなくなくられずしまていたとうと うつけらいましいなるいかのうかってにゆれる とうしこまっちょうしついと似とあるまっちゃっ かろうろうるはなしらい、けるずからておも りはつういうしてくているのとれるようとあ つりむらはたくいれんとなるとるできのでなって いいかりているとくされかりってきているい 三月ナテ 七年でたかま

東るを致文

ちゃちょう一方路大きとするとうれずとれいか大野にのれ そをいてからなる うけいとあらるひをかくてちくなけれなんとうない 机线多数 するかんしまい 多をないりれいきはるかいの後やようしていちていち きょういれるしんとうでするようしていたがら からいる文がないからいないまとはんといいののますと C まってるかりましゃはくさん 季えせい というないないとしているというないと そろび

小老班文

えくころかてものしてきぬきるい人のちょう ーでは人かちょうてんるやきりをありたろう 去していなからなったろうというになしかいこ ある。鼻のうけららにはしてのんうすであるといろう 道のとかとうろのでうちめてもしとくあくられる そう道をは二きゅうていつうちゃくなとなっちう ですきかんいうちゃくちょうかくらろうすむんち かりの代からいかのろうとよく切めますくちられて二 うしめのいととうとくるとくんるとくくというところ ものとくるといけのはいころうれていいとしないきんといれい ちゃんとうかくできてのしからいれるりれてなる あるでんべてしいまちゃく あってはくちしているかりろかるめいる おいけいはんといういるをかめて大きときいうも からくもいろとかいるんやいかっきるまていいわらから本 はいましていましてるとくとろからかんのからか いいないであったりが入さいれてもますったってもしたって うけのあるうでしましていますのうでいたかい んいろときれているりはくれいをそれている 虚文八書子一人人女生子一七十一年的名名的な 道台於 三月七日 的中台十十十八名一片を日本了

いる結合お尺をあいいるはなくるかいゆうとでいる うりかは多くは大るれろしろのあるとうれのう 与信約主面、とおは、多代的行人中人人人人名的多人 そくさいるや いからけっきいるのうかってきると かられるとのぬいうりともしらい中のするなる けらされないるでものはそんなとし気のなるこうつうこ はかいろかるかでももろうう 女角校 竹坐丈 The second second ころうないまる およいいれてい

の可将をくるかららかかしくいたか、白みずかりて 七くろうなりないる きろうちゃそうなれましい 与常社見ら そろい

不信的衛本がは年がは一分至家からで夏一分がとれ さしていろでなる中とないっているとのけるう ませらってもんらくなるれゆでもちって 年まずりせらさん けかいちんい りかーのかりれものある

そうちれいかるうらをすこかとうしるろいれけるい 老校· 多次門人附るらういるほど中女人多くでき、私行をこ られるはるいけれてあるろうくてえまり 京等 班月 战一五 これがちしていましているから人のはいろけいろう サまくる えくかみられるおい 以下西班中西語(本一年出了のありまして行 きない ひれまとう そろん そぞば さくきょ

まってそくけは、数なのなしのはこのことにもとくな その多数いてくういきしておいれかいろめしあるるね 持のたってうなくちゃんろ ちのあったけぬなくちかうう を明白 とうなるよ 二阳上弦 本回稿

事格での兄成人のかるを支かできて信しるではしくらん

十五樓

後、一手打ち、そろり防ちをかり及己をに随る下は大战生

ちあいてくっとうとういんゆいろめてあるない 第一名 下名一枚あれけいますらくろうにして いゆえなとてありゆうてい根なるまかちくろんだと 春於此香 女古谷 等國縣悉七

まるかったのななは わららい 本そろかけいからうかつつ ないとうにく あのわともえはって

される

二内云弦

称美の酒

れはいのえてうるられずであるいちょうなからけは这会多 るいただけられるないろかあるではるんな 方的五人行人城人付人回名するかえんべり 科等の文人名方を一人如更東西遇各人人 ましてきる為なけて一切からそのとける対方は のむりんでしてもの本被為はそれる人でですべいる そしてとるできるあるりはっちゃくうでれてある いるえては、いかくち人三か同的年间物付ち古時動変 電もはい しるないろ人二分とそうかできるといいいろうというとう かしからや多くいろうしろうちゃろ家の士もあり 自後の句 生 教力

以去了八分というすり、古代今末去五一句多ないつとのか められなろうというとの異ちくからかくうねめからう うかいまくさまのもるもろくなれんかくいつしせられ だとくさっかりいかりい

The size of the last of the

してかられてからんそういるとのこというはってからい 出近生也不必要人南海西际地心中人物心心以生 まろうしからからまるこのようをれまりからうゆう 四行の者かくりるれいはあく決定してひりきは者 むくくううちろありいまういかくおくはく大きころれ すくやいくて一杯のとうかあれるるいいに他を 飲酒一枚起猪

たくこ代ははそうとりことれ知るれのあいかしていたと MALL STORES ゆうちいくろきがはそうしるいろんをおきん人、 がいかか めのるしきっついやうての日もうであるでやあって をうしかねるではくうるとのとうくあらすべいあ 右級は一及をはいうれれるかけっていれるう人のなると 考するできてきるころうほそは~ 女角文 ちくてはいるとくと大はくさんれるいいくると 空一大阪公を到了一個一日 約分子 多人的人男子 公安等了於我受多切。全有時 The state of なるが

一見くえての句の一日の日本の けがあるちろうないで見れてゆるでものしてん 女角つかすらられているではり、ろうらうのうないで するであるのえとせまするになますり、それはあるしわらいま 大ら込帯 りる くいてあるっちうらいののをえるしいいいるるかれいて かずいうとうといなろうかともおっくるきょうするは そかることとしてもうちん すっちゃくるいから 出るないのうけんれる からいなれなれるるの ありる、え

はっちんは後であったとうなんとう! るり十方 子歌气傷 艺量、松克

いかまてつるめはるいかるいいしかれどうくきできて きていていているといっているというというというというという 下情に をうちっていかるもいれるおろんしくうる しか上はしるうりるちんくな大きした一たとういいま そってきての方的をくやしきつくえてれるる おけらうれ、と思いとないをうあるり、つれるとろり

2.120

アとうくらうので うりめ、なるでものめいきましたのち きておからいらかろいる そうなあおるるとれいるかってくろうるのといれ

はは三枚いちをしんとしているとしたちしくしく そはしきしまのいの後もられんな極いかっている 山内三日

うりくちくまとこ物のりをくるとしてあるまではす けるうと見るとていたりもいることがあるい のはたろれるりゆうとうとはうい成人もときちょうなう ~ あえはありはなりめんでしなるる同ちばらしは、ゆん するでいううとうにいれても見るとある

香中の場としられ けいるっとおしめるとなるとうっているい りょとは、もととけらう人子とんようべりないこも ふくうしくなってきくうくしてくるるもうい うろうでものう何としととのあるとくこくしたものなる い我的是而大方寺上之子 あきしまうをおとありは 三を与るなららのまからいるとうのときいてとう つけん上はりにけんれていうきなっとかっとくい 礼恨公子地 やくちくるちとからいあるとうしてかいゆうできす 局とるかいそそくでは一では一で地丁大的かれかいは終の いいとえてもれてきるり像者をかのちょろきもり

は通うい大はっしをはいしくしのうれるいうの 女志とすいるようと、本ろうってなるないとく いれるうかするへくでないるのかって十のちゃとい いかありている又をそれのはくしかのありちるためを非 ものとなりはきまといしむくくとすくその遠きの一 かすらとかいとううくくゆうかまのらかってい からつのうろとあるりんけるはあってくりていたとうないてい するまと例以十の指了一班~吃品的方言 定家の者を持つめけのすらそれりなろうちを仮 をしていてきれようはのそうとへかつかるころうれてくりる いくされる料理をとうしまといましてしてなるう めりは国のまかいあるよーくとでませるくしてのなる人

不通はすしくいはうちうしてありとはなるとうける そうさいかりのも食りまするし

二月かんな

て多坂

如水猪

正名うるかの自然人」とる中地もつしてものでは近 そうにかはのかきうとりきし 西もちゃから一代なるなしてきしいちてえること かけいあてはとのこのうるとさしくくろかいちぬくくん ふりいけかいくくてきれるはいちときるうとしてい すいさろりい

一からは、成人おうえなっているかない

智力一つ

至以

あるるる

一多いさらしまんけらられているれていいたけのの 一九的行人多一好的可以持、可以入七九的方子一个放政 芳物写作であたいしいとかりないのでもすとるってること めているかしれるおるななまるてこういかし記はま うるあまるい のなくそけぞうかとくあれないいます

をおうしるけをいしいなけるとうしてくくんいか

栗けるたつうえいは切しかまり、あ角れたにちる 同名からかときっちはる一後なきる一後なきさら おあるれるでくるできなのでんとれるいろくさら そばとうののとは名うななりは中人大多人当られ うれっくていくとくとくすかろうとう いめられてものち回うちきくとうくとのというからぬは 行し後男大をあめは陳的でしてちそうけいいれるな ちいなる教育、第八地名当家了~ 物はおくきくしるいはあくいいたりかろい おくりれ、そうれいけかりれやとうしきさんかってい

に通のよるうちは甲板のいまりううさてもちいけ

とくの教後のはしなりやいされてないちのいるのいか さのみをしくきしくとれいろもれてはなるかとかれ うはとなく大丈夫なんで本文なくかいなってりという ときてかってろうちんでくてうったることろうりかく すやまみたっかってくるあっちを残しるをしれるはき

田力せいな

そを以

ゆする 焼するりまれてもいるかっまし 少枝 小枝丈

切の方とのかまるとは天生像できる上海にちょう

一子信らいるく故しとしの板 はまたよう白末五十表白一百

さしまるが代のてくせいしくうけるののようん うかくられ代のもいち気がとあるおをすちのまかしま まるとあるういたるして弦概りためのに今年 とは、年後いそえあをう場けめるうちょうしいからまり えりや要の上手米なる かくなくみするといるとかりのするいる たいいとのますとうしてまたけのはえてはぬきてもは さいうするとものであるころらくこ 西内世四次 世屋

の 教育 る なな こことから

か枝格

後人る就是るりいとするの 好人でしてりとはまち入りい

女ろんくなりまとうなったったとうくいの何えいろう 生ている本しんなるのにおいても、はさる人、大利の あるしまるようないというあしなりいはしきから すりつんちとしろぬ人とうちれてかってるしてはいかい アとおろうしたらけしてするちゃくろのりくするよの するゆう人のさー等をとう関するけれていいいと 吹いねらしくいかちるちるちならいときしてある うもれていれるであるいのろうであるとう物の る数面は人いいくくとれいるはありそしている 人、湖北孩子人公教生的老月多了我家的东西也 ずでえて なんいとうしも 人名意 大水子 少年

動きしられいをものまるれるできて物付いと他の利料 えでくてらいきゃちらくちゃろう からう するのなかの事就放ら鳴のけるれ、我们はらのほ なるのというといういけりれるようとうれいこちれ の人でとれいろんかっとしてくならますくくで かりあかの人てしているもあっているろうと のできなる人とゆうとうききちょく気林を中く 又我去い教生するものかとう人なしてるるとあいる うたとかすると思るのできないよれての流の うちのりや好」素する 福之気 二月十つる 一笑校 艺道院

1

くずくなるれるかのすくを料けるのるとろうちょうくい さむかうしきもくしくのけるってくるとあいろうしい うとうははそけんでいてかて一つといりはきてきれる 附合十七年みれているうかっとうとうりましていめのける 情かくしなしてけて変化をしろくめていまれ とくくまるといめけいようないとこれらくとこれのとい ついからのに又もいりきものれりかっまでくていまる あるねられて見る味情してなりいろのかとうなん 人い方はこうそれをれてけるかいつしてかるのみ なしいからくしいなれらしてことりもからちょう からはってそろかろうというこくれるのはめる 八分の一段をそうものかろうう いってる一日のは一十十年

人却でまるできてあるいかくしゃしいるとり十七年 うくうかて付合いるまるにくらくとくとくとう をいうとうるであれる例をえてうからいけてけぬとい あってかけるなしるといろってくけんのぞうけてるかい 十七体のはとしていてのとしる多万化の物のもよう 百般をもりはての内心一二体をあるといわりるのいでいる あかりるいる人はいのますしる、他なくとしてすけいか いるいとかくうつうなかほくはる人でけけてはしあるよ かけって何はきといくととけられいとゆきかしくは るますることのですり 六月七七日 なくうちるもいくはるい える人人

क्रिक くろう八月 四つ 人間 かくいるようにきくいくとうでくるといい人からまら 名のと思うとうもれつはてりかりっていきいくした 接及 からしいらんととくとるとうと、ある日かけな人 男うるるかやなのち おのぬれてきしるけりまい 我也一个有大了社会之子 的枝枝 香的校子了 人名 ととは

日土村が分不下人分ろうくいおえ大きくしんいるる きらしていちいくうかしたあて、工夫ろうしらいとん 大大はいいっとそういかもあると うりつけらりていするていてするらいさりとうえ しかきりしらえてかりくかしくもしたをそけてるか あるてしてとの意にとのとくうしているのうくちち すいくあれてあくていてらうかでうめ、おきは少たれか を換野なかけるあのかとうるろくとたく さんわかくうというとこくすとれてきつ らして生であるあまではいんともかたいてたわ すをはらうからい血かりないはりはあいい してまれるのう

る人及主常人 らしてきのかくろうりえてすらいうえてるとであ でんくってくとの一いっかりかしてむろうてち とけ、地分、する、少動でらか、後看後為男生他了る

七月十六へ

なり

それる物帯し大阪でうても、おんかくさいとうな 八日をなころもよくしもりい やよれ、ちよいかけの力はるくとなる一八、たらきか くろうらくるしまくといからかましていけんにある ~ てやれひぬくそれれ

のとうんるといくなまっとうるしぬうやっと 即自私一点 なるらくなかしかはまいくちゃんっちいるかいけれいはき C 今末文

更白があるというとうくちょうしているう うのいろくちゃんでしてるちますのむりあめの松真 けるるでとからんおりな本すれの又下も門人ちまれ おうかかくのちなくいりけっているなんとう人たけるら とくいなかつうそりけるをは、ちゅうやとりにでき 一き一枝のよくでのろうかくっというまする

おるみんくのもわらてありとくそれからしてい をめているとはくりていちはめいるはなのに、また はたるりくこうかけるみてやくそうしかこくていぬ 松るよけるといるとはる小服と八草と叶於连喜放 でしいけったりとうわうするかくましいかり るいかろうるにんかは名やものとているとあんしるとるな 役下式你ろう人の投物すべるようちくのあるる るれんあこもえっていまりものる 以節文 95 お川文 D. 大多的、人中·与京

かるとはそうといいするというかいあらめ、する大き の中でいうは、されて、はないのうところらなと 九部三名外人同居民人了中心松子多了人们发三四句 与ですいまた事で、多情了しいかき三人なで三人へ うてなくがかいち、秋の肉もしなっているく めかててかっているのあれていることいきいあれるとくろう のうしてあるあるとくなりといういとってあるの おいてくもうくかくととれるとうちんはよろか 同りいかいてくけんうとうちょうかをくてつりてはたのうと そろのお人なれるころれ、そうで みゅう ムニナ はなったかけいかっていからくちなられては 下 1一台大学了了了方式在心里人及为在公子的

うずら入、又とうたうな、方をおき秋の切りないもれて 大と少かられるうかりつろうつくていたいたけていこ 的人一种枝枝 一大大大 十九かえ あいるかっちらはいいいとというよう 一人人了是一种 の芸的してなくつきついかしちょう いかとうろうとしているとはいい いか一方となると一种 あれいる 一两一九人人人人人人 党 0 宋河 本田

いらくすんがはの変化をきているけたっちんりこの 又将些了多人之后的要情了差不吃的他的的了好人 ははあるからいれることがある ようちょくろう うろいすのか 屋城松電動門家 少改 为 植實門解 ゆけいをるといくくるけれ

でうやりくさいめるううけらい

夢場や友多的なるかるのかあ

いけし他ははのからかなりてくとやうするであると 多くいうつつ 二白的社会教了一次是了孩子了好多人了人心的物 とのころうしは行名上 神なるとれならりにからなたのはなりくかりて 肝要うでしるたいはしるしていけんちんいうれ できからの大様をか、あり入りいているねりち 世二 みちる はも見るうちるるとでかりるころいろう 考をであるとくり代る版 にははようととしまり、世かけれた生二高的の そんかなの中山かうちも、 像化橋 松份文 ちるうろれ たかられ 2 de la かま

をうですしつかまっちいいあるいべまっしくしてあるら 勢一寺かを称二ろくちちら 三人とのは、はらは、さらしちなけ、かちってはない けらくにする 通知学院古礼状一作足に世角之名 おはいいるないるはのはあるといろうと おかとくりまけるい ういるくくろをやをめたり 拿ら孩子なくらいるである人は喉気、なれりる で一个時山からある野 好き一年のアンちゆる了の個本作といるそののはできる おもうにいかですとないをひをくはのかかるちい 四上了かい 晚马机 かかろろれ なんでれ 之极级 多ち大れ 350 Las K 大多は

あることろしていれるめた古れるいましかると るれ、上は多称を小栗栖大吹はとすして見てくけんれる まっているしいのかかり

世田日本事之十

艺堂先

きるうのがなるよーちのからおきるうのははいるから 今以上れ、少党をりの、吹方之孝所行い 三种与粉劣的城市一小的农堂与的是原子以上的老本 李中中的以为名"李伯多行是安室五月四季中心山 かからつうしまくしてのすりに れているなめています我看かするよう 一人多大大大

支方文 さるか ところところところとこととうない

るかりとかというななるといくとにてあれ、せいか きらかかうめくおるのはくうするでんといろれれなっと まむれのとしの内をいろうくりておのもいっかし 九的恐回了是では了好人多多名「知是古太殿的名と は化してするというないとうないとう 0 あるうりなめいからきる 西面多名 发角雅生

とうちのうによってあるとうありまろうとう というでのますりとうすりいまするよるな はってめきいからてくろろけるものもいちつき方しき方 からしまいからいかり、歩りまるしあるかとする 者文を味なるとからい さらずく、中少かきでいていくうかういるななによう あれれた人 ゆるすいたりとうある一名りるなくまない 一手るのとくにしておけるよのあそのほとかい 少とうるちいますすらろし やらそうろうん 水光橋天白生的だけとう横る人の家る服务之でこのか 一部的四月楼上的村方 ほしきいなり 枝しちのよ いのも又であるしておりからをもいてしていたとい くきとやしちおうともうとなるかいんといれているかけるものう あれるが、物定のそうというれいあるほともはは多様 まりる ありますかりは一をゆうれし 二月十三分、大阪艺堂 荆月文

きしなくるさぬるのうかりい うしとかっているこうけらい めはくなりはくいするし又すらましてかれてうちを ういまかるとうろいろいっていまるいちんとうい はありときのいるかでしたさくったいられている りしんしるとれたましてあるかりであってい りは短州四はきずなりてつれているできるうなる 近ろり入りのうて、ちは、きの中、はまりゆういるや 子れ子素級上なんまのこれ さんやらぬをいれまい、我のこれ 女角 馬柿ぞらく

古中人物以為外原是不可以為外方 以上的方子 門外人下以下 二十四十二年月文中村中日日四天一日 れるいれらてとうちょうろしてりてく いあることとはとかりしいいまではいちんかっち サールサーマーというとはへいい じろうとうちのあられれいかりなっとるるとうとを めて多年 魚此月八版 るのかしは多つせんいちの家 的行為的一個人些門下名 〇 杨 休丈 かわせる ときん

いさうれいはよろをない入すれかりちをにおくいていてい きれ、ころうちんならあってとうし かれる「しまっとはつうでねしんすちのかきこうれずら めりめんでしているとめんいはしるしいほこれってしれて いとめているとこと人をはいりのりいきしいとくとい 出さりるとめの文ではいりんろうかのではありたとうな なしるかくできていまってそしてそしかららると とうはうできる中のまでかりという行き中くらろ いたおいなとか人文している 外了分多多自己方名 大日秋

ナーニュ せいとうものでいす 保生作多文之作 か将たの書か的はる かかしやないれ 程度く代えらかようくいむらのはいいであるちのであっか るのものをするれるとの 全属的机大方子是完之多 むのないるとくしてはする たとうとうやしつかかられず まきるもあるという

了解の様を打作しは好るなるしぬ了しいなからんは きにうするのちてですのとくいれてもかるををつけられ 上力を行るれいこりのよくにするできてわかけんるお あるいまするとくいるとくこでにはとなりましていた くやてるりいゆうくろれるるないまか一直いはって とうしいいは彼といかくるいかっているらるるとない 作いゆつうしてかれたのであるりからしていればうい した地大版というとかえらんろるるろうえるっち 大きればならあとえなわる。属に入りてあるれいから るかからい至しなやけるのである。 すいららしきても 一十月から かっていていて そのは さまくい

" 许山祖文

ゆうし人はなったれか、アきての、あのなるくろい 久存弄幸でなってかれてからないこしていれていれ お回さるというちゅうくろとうべくかとうから かくちりょうしょうとうとも、あれないより おるるそえる一て石敬了一千名女角かで多く 和とうというというというというというという やいあきくととなるしいいくであのくるすいこと うくはていれるのですりいならてする サニス は、すりてきらりとのない ちゃい

するいとなるようりか けるれるとしるなっちきれのもよういあるの のにうえてきていつとくとといけばはってころう りんかけていめてはらける、そとそくオとめては、子 数ならい 三个里尾班大松山不到了 いていいちまるでうつきつき たしらはいからうまするいしくないからり村であれ おもろううりちちゅうと そうとの移かすりのかれる んのうやさくかやっかうう ~上 それないこかろろねくもころ

松信中国南部八个天后下去程をとる信はつきる

一時まなは多くするんかりろうりりしたそれのう あるとなるのというとってあってあっていかり きりしからりくろれて、世子いてあたいりりととてです さくろうかなないいうろろれはつめはうられ かりましていれているいとれてあるとうと ちるのなりうりりる のそろかうなられていることでもあるとんととなっ マーララあ、事行地はのよるけてする分別門他はあたい

一学は、ちょろくついるられたるあるかとくいろんな できるこうけかせめしかいるでれ、ころをすべけっちょう ないるなあられ あられているうであいかりるりてきのういれよ

にりこる トートなうしとこれをれていっき、ソ

戏之福

をすっかるのとくてしいはらうりしちるなとれいく うかいしてめはうせても 大は多いるとは一次人的中 大は 可了到面内公

も山橋

なしいするとへれるるでするからうくまないれていから 0

記るうしいのいろう での人ろうというのうれせくの人はしょうかいかられ れるるやくたりなってくまれかいろうのかと一枝しまうの たってくとうしいおもいかりかれいなる、へろうらくる され、くないなうからなしてちょうしやいかっちょういう いるが、き、きのかなのをかいまするかかくきりかれい きょうでんくゅうしろ たん

好大, なくかいろうなくれるというないと

ラねな

ナンイン

けるめかりをはるけるとうとてはから大くを上きるとうとう はずれ、からき、言欲れ、ら行をうれ あずいれんのかられるちからもれ上とうからぬん 大るそ近川ではとれているとでもころめのより とアスらのちろときったりれられるするいれいりれる からてるなるいであるるでもできるいろはいいあたいこと うろうか解う妻子うなるえ りけ上史のちてしては

す故なしてられららたみ与しけるところはそろろ

もしてものはなりのとなるりしゃうりのあれてきと

はるあめるかたしるいかっとい

十一個大人村を送了ではんとて行び発品あるますかし いりまする はむりるますくてるたくるいりのゆうないまましては とするまるやまうないかりしているしつりんめるとい 大編を切えるよべ一束らから見るいをはらい野を命 うてかりまけまていとそうるちしはしるとでななすすき といたってもは四大ははことせつきとうというという それ、随かは眼風知であるのりのとれるおるとおくなれ なられい同すいなし、なりしになしあられてるけらりは なくちるませるあ用とれいる刃が行に必ずあるら おさす、みにき気を下本大はといてうそいずうらからるあ いおるのころからとそうち、も丁りはいる、あらかいあける いら五

めなけれる

あくえるうちろろうをはられてくりもしているから しんとうからればすべてもののことをらかついされる 年るすれて、名はいれそうれなりまってかるも、いけい とうはうとくとも待ちとからはっとっというなる かるやちていとはりとは言いるるろうしまでするとうない うかってくちからけるこれであ あいまさしい又ないないとしてあれるいかるかってきませ らあるとなり、てれる今きはしてめることととるると そくしいは答うとり方名教をう ちしてくったれていかいまけいをはてきあるとう

一大くるちょうき中いるらからはあしてくて近くれている はなっちら かいめたするなくろうくいろくられていかがといからと

一うなってるれてしたっとかりいもれてられるい 事身世間

新四月七

艺重

The second

い中へりなられなとうちとうるいのかとうかいうちゃ はつうてするち被かくとかけ、町気からいきちょう めるるうろしゆいときていいちしくまますちょうかっていい さんしきしはなしているというできるいからいも いちいいあからりょう

るけっていていないとと 十七二分 できていりかの作がみりい 的小文

され、物とかれるこれできんなるとはるというできると 子信をしていし又の合 をういしかってんくっとんべくちんちゅう うつらしたのでかられたからくろううとしいからろうとい あるにはみあはっかいとかけれ、見かできり、そう それもいからなるいとうけちしくうとうくくしている 例代氏教内了 多了

べり後はいしとあるれずしゃへきてきるよう セーク あのなりだやう木れあるか 方板文

言為此いららちちず行すと、をいるなるといいるは いてるといそうくられというういうえて 多何があっていてんでんとうして見るいよの やときま文は日本人とといれゆしんとらまあ とれらはしたみでとうというからとういしても けてきにかってうですくべなる

心向やり私

おはなとめつうれいいなるでしていかりないはいきま していろうえてきのしているですすから、あいら いらていろりのいるとなられたいのはっているがあ ろうかれかくらんきしいかん、りかっりかり、うちらり きるからめいい配るりとけをすているかはられていると あいれるではよいしらむと日ありたるのなる してあるころではくてつとなるないりかと一大事情とい てすっとてしててりかくそ又とというしのいんいかっとし ていておけられるときっしちふ大はるといとしたしか

くうこうかっきむまれるのようないなくる いなれれてのおくかってきるからううで 二角十分 而索雅文 さる

一部月十八八九人家中人一高小後路馬之成的之人 すいならをすべつろうれてやはつあらいたときしている 再きそうかられていまうちれるのくくろうし あったらうとう をかたいとうりがないこのかってはとるされるか

くいなれ数あくしるをいまるですっていいかかりいは 十られるかともうちゃくっとちしんとかつらしいあまっち

一丁うとかなきたしかとちろくろうるりぬつるしく 门のおうり、するうり、飲るり 花人物 在五人日廿一久 というとう人人が

そのめまでうれいととれてもののの まりをもなるのちさゆうしくうとくるとうるりあります はりくしますれるしのをろってなるとろしてもくさく 存はのようなない人があくられてるといくとれ はんっとうくいてられてくちょうろうとでしてきて あまれておけるりちてるはっちいちれーふうをういい 子から、ますい行産いおいかのはくそろでとよねし "年下的 经不知的人

ら自分

がま

うしいるらす、又しあるとと大ち、からとうちの おるでする

1

人しけないころかはりもうはしなりはいないとうようり えらてはすてのいれむきまるくているときをきる いあいまわれるうするといろはちいんとめれてるね からするとはきしいできてからつりからられたぬする ろりととれんよらう

あるんできず、そのなとうりか、大うらはなをでのけ、 うついろうくれのしるを見るしきれるとらか

まきりかりくいじはをすい物になけるいけるいりも 寺方、松京は、そそとのいろりて伊なしたである 了·传发至多生的多数教教之的子為大的一种后面 であり向い

うかり自いよしゃれるしまりめ、そえある丁っするう丁はた いまる作数では他欠らかずしくいは行をえをろうるる とりれるは、る明な事らはていたい多気の似は一定 し続きやするというの名えは丹心をとんしくちのし 下しるというないあす 動奏像てきめなるとういるなれ 到るのかろうちばいゆを きくろうやなりえいく代の男う いいでもあるとしよう海

るあをえるしかいればらの思ますさくわちましい あっていれないはは、多そくとちのはているはし れ自ち るぞは

松风福

むろうろそはくをする人気はつうそうでしてしつ 入信言句 あるかーくかーだし大きらでの面でしていいちはんれれ やくちいつきくちりくおろいははっとはんしてい 物は一やなけうちははでも

での見しいるする人の方面教えるしくります

サムコ おんと

十三里常人就四十里多好的七十里面上两十一日十四日 三月十九分行攻上即至如了三十次是为什人有三十里以向舟 古塚十三 五品深 各版 乙女塚 清盛石城 忠度像 的多数七岁 能门面后情怜 怪 布马 布门 金面 數學係 人意路 面達塚 好的村两保 就中看司座俊你 后京五郎又中你 良獨楠你 他的はのな

昨六岁 降引 騎你 与了空味 第七年 一般人作

城七少 叛极 雪好板 了人了极 宁时级 与小为极

いかおの数月の数名としるぬいくいちょう 不勒板 小學板 山母らり 小尺山 多孫敬 す此人 了何りいの時 印月廿五以 万到 特尾ち山 全部ち山 一年 はいかりを がま

赵十杨

大きなる 田田田 かりている

0 ちゃころうのおうかいまるゆるへんれますらからん そかられはましてとれてるはなるようと まるもんなちられまくれもし大きのれれるで ちたなけるち

のる物ではれたある」のするはのなが、多大本下面 なるないるないとろしまとって みしる家的のるとろし、大好川の舟といるなるののと 五月 9名 れる

ももなる

はまずい尚まいまるするけるでとるちのけるん ふるもろうとかけちが作行名 ちいくそれるこのはこ人ものでくれかをうしる うろうくるではあるとれてるはらかのむろうでくし 京州を移り物はよくかりくしのよっれるりなるします」

ようのなる物をはいゆくららしいはあれれいたのゆ いかからうっちゃしる

父紹七年十月

支おるおなのはのではあり一年かのとうちますれて はないとなっていることとしくろう (は)なんないのからいとうというない

三月月

何枚、と

一 雙南雪年 同所

そいなんとうときくちゅうちゃらんうとあいるちょ 所就は大 できる

文章及為示

ないなかかってくくなるとなれたあるとの連種い そろはお

随寒のちなぬのち引起 物的考本及一卷白炭佐華子野人公的であると あるしいねんでもとけれてい

はナン

一方人的存住下人一名物学物名文表了了 之就七年十月 日 るるはお

なんななしられていないからしってい はそのなきるではいるもないいよりかくけるの 年山家のちゃんにあっちめてくかりようちゃん はん、うる防食、すられているれとくるそうは、らかけ ナカナロ れたするちぬ

作指一葉集句合評之部

对意八年上門日初 名山

中的ガンシ

收窩 久城 校 物客 湖中 编

見からいいよういかとうはなくてくろうかれて又作るけ てこけるけなるをとはういたのおはの式化けてるいか ますしますいまりしくれいき 被なさんしてんかいと ろううかしくいるけるくきくしてはほういとれ ひつめないなるとうけれていりいいめもかくてい 小とはいうらいのなるし、くろないますすうちろくやす すないのいろではますなりしていいなりとしるとう

大りそもあるのかるないとれていいいとして ころとうないはてていしたるつにするけるとうもあいた らからんれるとやしちのもかけるとなりな 发文十二季二月廿五人伊俊上野松尾氏宗房 もりおしているうちす

見かけり 三十寫你站太

所称一母為切今前之前

松此氏宗房機

きのあやかくかりするいろう あけいろうとやからかりりかる 三本 えけっ たとえをのかいめとくかきんとうかん、よ ちのういちのでするかられよりのしそんけずしたかついろ 一多 いかくいめいけっていたろちち ちのに、そうれなからするうころでもといれるのかった 左膝 のはいくかつかっていた。 A. 85% で

二名

あれけるやゆいろろろろ

えかうちゃくりいやはよう おうないはいえゆいようてたといちは たのかいうろうろい大はいるかったの変をでいいいる なすいくられてもちゃっておのあるてかいたないと とろうるないあるとういかかないといれい方のなって もしていけんかとういくれてき、あそりものいみる りれいれて、大松を見るうとのそ次様、ないのけか , 林人入京 清縣

1/2 三年行依法是 三大

で食中ける物的は 衣船 かいき 支持が

数うすいうといすれるとやかりつ哉也 教子すかいようできるたろくはく、とうであったこ 万姓の初れるくいけんであるではっているるようい たかなったくかすりんのとからでもいろのけっちろうれ である とうけいくさくこうととういくしいれてなかいける

夷るつけれるいやねるらうらいけ さうないなるまたくちゃりの中

左

和正

代字母

たうちしいてうけきちんのもれじきりてきいい やきなかりくできれれないのしなりしゃかくしょう 方すとねのらうさいくるとあくつかとうなんすれているいい いるからいか、まったそうきのとくいける くいているかうつきているつかときあくくろうとなるから のそのれっていれのもうとうあいかけきいおは そうえほからるとれてめずれりけった」でうとも様のりな るる

左右

みるか美してるけらいなちられ 場からきるやちちったこんとんと 真函

うれんかられまする うし 太城 ろうゆんとりといるのやさく 六多 いのりをおとしてるけしはかくさられているのかんちいる ではいうちょうままれているちゅうけんとのうちま なってきるといいとしているはっちんのちん りかられてうまするんらけらげったぞくえけら とうくまとかろというのとうないからい からし たのもゆるのますりにくっちゃんてるもいくむし 左膝 しての事からのとだっけいいとしているとく 下さ

ためのを残り変なっていれけん からうらいらいちかいちはいくしかるかれる むくたのんせしらきいきれるかっちゃっとなっく

七克

たぞうそんかるるういでは 左右

险心

ちいくいれろうれるはる たまるらいまるのようとかいくいいろうかんでき いうとうれているとはいうとういうとうれるとおうまと ものとくきてあるかりるもかれてある 九まっこかろうのほんないかんをといってるまいいれる 代条母

八名 左陆

くるやきずしゅそのる いたこととうとうとうないまったとう

好から、するですかけるもろろ格等る たのなるのなくできてきたちにいてとはてからてで たいいきようのなるといかれぬ時でのだのはきける

同のちの吹んろうとのもえているかくれのれてるな さける一すしまとのいめるななですしのろとをなれいえ けいれたまってもするとし後子かのとではも

たくきっちゃちょいてれるこ きてくと了生かれるろう うっていてゆいるちゃのでしてナーも上あ たそのはそろういくくいたとるいろいはでははのかくら 73 脉 とういうれてつるはんとくろくはかくていちのるの からまするというという であてていていているとうちんいまくうゆうかくりかかくて ころかは、大人たのまでありながいましたろうなかりや 宗房 教前 明色

ナーなる

だ特

いしからわかけんつろかのである ゆうまやいのんないるまやっち 和人 十一多岁 なっきやくりれくくういろりるからかけるえるとい たいりをそのちのちとうかいろものはいるいのとう ふれてれていいいからんのとしてしまかかられる けらのんころわきしかいかえるめり かくとくと、ちょう なのうというとうれいつわるれくずくしゃれき

F

けるなっつゆりからんきとない古き

さられるまでやりやうにしまい 一元 たいまけつるいとか、そくらくとなの中のはれる せえるちょうねのさ

なのもそのかいられのはちくるべくしなりのか をかってでいるうたられいるるでやしいという とおそうからとける行ちのおりかりょうとかれいからの いろんっれかりくりれであるるりゆうろいろう そうくいかられ、大ちていいらればうき

本公

小ちかのありしたろうあっとれるか 義子

芳意のかやちの木かゆうけつう うかさるないからかとはいけだいろうでうちょう そんでんかしからかっち

りてきよのなりしまいのかちものしたしけるためちかい 内の刀に係るうれれての长松気のされた之文下佐に入之 いくしかいちを苦を帰りれまくむれるのうしけれいたの 本れはうちろたのサーも及しるの

十三岁

なかりからうれてするいはころの 這完

ふりていくてんなおけれるい ちのう本きらからめんふすってきているとある たろん てもとく一つのきけっしてきかりしいかのものし

かやのまとくうさいようれてうそとまでのむけめるふ 十四分 するかくとれてむくめつうんでもつりんから あのかあとんくとろうくしてぬるとしていくうれ なのはなかりきすうけんり

左右

からやれいるあつきの機とり後

脏之 平市

あるやおう あれし ないかのなるかり後まところしぬきののいきないき 一個少少でまで 村入

しれいできくのうべかしるちいかしらまいかっちん たのもおきってくってきしてきかるあいいけん のかるらしむくのな本致のみくであしてきくれいあるか いくらくなかけているののは複なるとくるさいん はからかけかくおる地する」はる

十五五旬

すしれらいけんのいよけんなしろい 左村 右

101

りの舟やとないらと、れてすりしゃ 信を安 はなくでやめれるけれのうけ 見るですらしてきる人 よってくいるうけのまうてきつて大明過世十方安果 ちのもくうはするのまさかいやきったいちからいらはの ナラる たいくそのくりとかをはちそうをからいましれの んてういきいかいまからちちけらればしため あくまとかいろのおろくとしてからさいくだれてめる ゆか同とれらうしょうもつされていろい 格盛子 ずわしてく

むるめおきそろのかのんこのん 年初 ちらいきとうやるからわれてもちく の民かとはあるるやりな 方はないるからくうとうとうとうとういろいれんな 方院 十七多 たくちくけんでもとうちろうかれいと あるからいはないけってるうるかえかれていてく 数あつうおかしていた方は 思のさしてきしいてくずけもつはななととく 節のかきられい枝夫のかくしとかっとのがうかりして 左

ナハる いるころはそのかいずらそいまくりてのれくうし 人ういててろいいくうやしたのうとこのはけらり ちらんういんでくの地でいてくにゆってしたいはれる とろいているかく! られなるとうちいいしかんろうろうちょうとしてきられ

いの上と大なぞうかとれのま 追喜

かよけったちのかりてるまる たのる大るとしているとれのますゆいまとれているとう というとうなられるとうからいうとろうと

人のの言がかりかりていれてすべくらうのですと うちんいんのくのそおしれいままるのはアから 大けるハナーおくてゆのいつちてえいくとろうしたり なくさいるの 人人 此男子

经内下的了多多的人的 我也

大きかとまるかっつかしゅう

たるおははかくとうしきかくそれ鼻見していて

うんかいあいかっちょうとうないかけのこうとうらいい

うれ息くむくっくくっとおゆい

なのなんのかできてはそこともからいっとている けらかるおろもいろろうりつや とか再うしていいているはまけるときてめ れーる いはのくというしきなるととしいいまれ

二十まる

事としてうしくやい野っる状況

なら 政智

女父かかやもうもうあるでもものじ はなっていくとうなされているしてよれのっているし うのかあるいれてきりあしたけれたいのはのきの ういいろいはのはれていれるないけっきてきつからう

作らてあるような地のすいかとくかぞれるかのも きるといくやいかくちぬ れる女文なるりくるととくもなりなれいかられ しくえつれにないいんとすってする

二十一名

作男をあるようというるか 鼻毛

なうまやかうりたくもいからる 大馬 行で、たいくかうちいあるでもとするでとのいうれ これをのほうけとともいくるでを始れていのたべき 九天をかるあしとうとからしくらいあればれる 加加

うやけるいののるちつけいない とかとめて まてとてりになるな なればってもれるではたりいろれっていめていくれる 在のなけれてそういっているとうすることのころれるのから なのうしくというはいとはなってきるのかりとあるい たからおいきかりの心まし まいかしぬすなうてきてきからの人がくて たのはのよ 二十一名 ないろろのおちくくろうしいかので大いいると ナさん 加加 A STATE OF THE PARTY 五木 改是

ぬのもさんでやっているの人をというころの きくうれてやさんちかりして変しる。改当 きりからやめようかそれかめの飲料 うけることはからとやらとい ながれるとうれいいのとっまっかっとのありものなくめれ 人のかれかけそれへいのいろのことののかんこととれば 一やあれるとくいろりようかいかってもかれるあう キオをあるしていいはまちつるしましてい にはいみとうとオカラスーかくけくのれく

からいからんどうとそもた してきるいかいからきてよくとろとうわらのな あるなやすられるとのかけまるる ろくけれているとといいろうれてこうからぬつろ たのはのないかっては一つでこととしてときるというろと いきってもけれ、あお 二十四分 もなくましくれいはまめりくくとうしょういつとくよう そもちのできててするへろうちょみけらくとのから 男かけれていいかでしろくけっちなっちんとうとうか 三学

でたけからのうちしきとめなってかえてからるです てるれんでするしやとかりします 一入 きゃくてもにいっかいろいろっとれい たっているからくくるからめよれいるよう くなかるならろれはないとといろのを文はくし うずるないとくさのことのはけらすれ 迎 日大ちろくでのあるればりくらかまいてるとん 大人によりまるとうと人をはそんでは うべれためかしともあくてもなれかんなるちゃっと かつもれるしてとうかいれていくれていくろれるつから

Ether and and was finder of the was the

うずっかけきもとういまれるといろうくつやけるん 二十八名 からういってきたとうくけられてあるないあると

そのなやけてうろしいうんしち 专院

あるうちつやずんといかれまい たるできているとうけらきしていけるうとし、ころして 日はいろかくとあいるとうくとうなくらくれて するとれるまけしたときんといはらいはな あっとすんしんかれきというれてきのとくないと りきをかり一ちしくいいきっちのけなられぬかえる 長勝

左杨

神は一个歌聖をきからたけろ

不压

を でやからとれいと きりと なりくれくるれるるも あるからうなったとうとうちなしているいろう

えねてくろうれんりるいまでしていたのをしん のおうでくては、そうべきってきれいからう ないれるとうむるなとからけてき一人はから いんきょうやけんう ぬいかやさってもうれかのったがいくわてきとかか

之十名 勝

たのなやいきろびきやらんのれるふ

代男子

六

あるやそろかの出色作品称る

ころはこのしまくしてくいさいとかとうけっとんう たったのむっとう人性のないをかららいきとび社 でくうとやゆなるおやちさんけりはんはうられまたのか

うちのいろかれてあれる

すけの上のかけしてしとく息気を命のれるると ぬめをうしれずるいくするいですうちないきかれい

かのいうのももしとろ

る里日後中ろうしんわいちしていまろれるではい けるとううい也不以女角、你吃了 ちゃくという 色うあくけようにきくきく大はのよずいできの流を れるかいあうからんくろうはとするほうとくまけっい 老のようもれくでもつくのでとくろけらいかうで 以うかうるのおそ後」りお何不用の孩中人看了 情かるっちやさいていまさようかくくが出するころの お再にあってそろとなるいけるられて表文ではつ そんれてうちけの代五十句をはらまるよううよう 行うすのかのそのもではかめるけまるとくいちめの何のなの しいしているとくいちとくれしたい

高海江即行行

田水之句合 きをたくうるるでは人を客寝りなしんとう 少二名 それるしるるとすかいなくろう からな ないる ゆうまる 大大 ちはるるさくくろうもにり 沙一智 あっくろ一色をめしならりのほともべめし もてかとの作をあったかくしゅうくとというてこのけ 使るようやれのの家なしろうよしかりょるるで たかのちいまといってくれていていてくれてい ないの野人 わりまの農文

1

そのかやらろくをまのるとはる いるなり 物 はしようくこと たの被機でのはうまうかし 外之へ 大 れる場するよう えるとといしまのいれすりしきれかっはの文献 さったろはまる自取れのるのとうとうとう うそのなくとうりまのる 老文 地元又 此人

いるのちにいるういるうけるかいはい場合と考ら やなるうゆっているようでもつくとうよるはんめる てあるれたで食のありたるある かったりつからからです たゆうちれているとののとのないよのうと 内はまつても古里やおり 大四くからうんうれるびくるとなべはかりえはから したとう後とナンストいきり物のちりかり文作って 左右是風王的之外 後、けり又物をつてるかんけりきょうとれたけりより とえてくえつよしたいたんれん大われるというというして さんとういけられるとうなるとうか 中の本 党、文 他人 弘人

かりとしてるるくしまんな 六五八 やれな人ででやれるころ 務有了人同思出為人をよ サムー人 七打きいろれーでくれたは人のかく又同之うまの そろうといかさるれてりることし きのさいくかやりとか谷中の梅くたちの でなめかられてあるときるあ 左對 在一菱二十二人一心中一人物的话中心一支粮夫

サ七八八 するるうとうくろうりんや してはないとういいのといれきくずくまくして うはならってるとうとうというれいうや 受の事がはするとしてすりのりしくうしのまけれる おおからうし」しんのつれましまってきるのとい 塩子等考及事除人生了中人でいるる方的人、特

10

一个人

党之

行でる的後はるいましいかいかし

今了多分子等的隐在のますれ

方版

とうとなるのとうというをはるくないろういうちんれ すへ 行かくち被佐しきてるのです おうななのうをやまくに というなるではますようはできょうかんらされ まるをうくらけられてるわれまるのあるの中の のやそうれいてきてくれよりあすぎのへてちの関やと 左腓 すったのさらようとうれるのはるね後をなしてけっ あっているりとのいますかいきりくすか そのだのたのなけとははないのうてしんなしょい 木 史是 对人

海のはりはとうと あん オナー いいつきとのといる 物活のまるあるからなろうであ 赤 なったるまとうかくうや 少方,我人不多,我这次 可ナランヤ けんへ けられてくまかりでくなつうとれいるとれいるでで う一個一人物的のまあるなかっていのことないとう ならようちいれ首のなるとして、冥電大橋を治す 一大学 党交 他人 史文

いないはれるとうか 太 五息 此人

あそうりすけんでいるかる るうちくめん 花とゆうこくのちかとのでれてかるからう きらうしれのおいりなのきの国界のまやよるな人 なのかのアンナルテルえいのからろけきは

サナーし

左对

大大大 もりあるなく今と、随はさ

や人

龙义

はき火子 ありはらし

サナニー くせくれる十ちたちともあるとのストーくてう 枝子をおけてするるるですのは高くしう はるいとううのえかかのたのかり聞くたつとるのはのは T. 00

るの地手館を行うる人の多分 左

龙文

をわのはしきるるのともとくと たのれなからされのるかのかるくそいろやのとお さんなるからっていている そときるのうちてかのなのれるしいあるといっ

学十三人

生

ねりから ねこををすいわめるうし がてなめたいめるするいでしま 一方一人校学師の発の方 たのきる人方の身」二年了八大 大きないるスツテのからかられていてかんこ からすのあのものいま人のですれるいんでいれるけるできか すですというかんの気はないをける もこうとうれているとれるとなるのかのありをから 東北 児見

多以後的はらかるとはたのは 配送了 盛省やりる が丁追 サームことうかられるとうちょう 鱼岩風のかち 事本ななたとさいいろうれてくまるりまするから はったけきつきしかられる 右 公任明子の舟となてあるとうかってころれてもいった 川武の舟くっというちまるろうしてんかっち 左右 からなないかっとうなく でする Share she 唯人

サナちし か限者するくいなのみそととれば サイベー 秋のではめいるけるとう えらるり砂ではいのあえぬするてんしむさくる けんれのとくとときるといてなのも用にく 日ったってするでもするかれ一つでくろん やあらるいろくかろ大ろいまれるかあっまして 党文

なの町まれるべるとだかく 一大人

白るをあるるかりみかること マナハノかなら あるなるないとろろう 一世左 勝子 きょうちょうけんは 日本大変又 芋を 枝で つうけんれてうか くういきはむきできてるれる奴異のあるいとな ありかり青色直上心とうまるこから内はい いいいれきてくりや文学のなるものではんいとしていかし たからするないとんないとしながしきまるとうな いいいとうとまかっていいいかはのみしい方て 右勝しいからでかりますからまたした人

紀的行かちみんみれてやか

たったまるから

そろこは、秋れるるいからくかいてくらうでれるる 木ろしとあるの場よっと。風 かる被おれのあててくろう あるですでいきしてよくちのけるかとついう そのとやかはら見るようけらいかとうするこうける れのわいたまるり旬ょ 大きのくなるのできるときない、まれてかれる用る けれてけるのにあるまとちれてるかりあり かうちゃんできるしんかんきなるなく た、一月代は東京を 发文

生きれて一切のあるをはそり オサーし いるとういうをすったるからろく を一をのわりれてうあるしまりかり サーナー 行いのしのちろれのきてうちつかる他のでかりるはな 左站 キーりってんへけれるいともするあんや けるられらろくしとである見まりくけると 太 たお 龙文

大陸のうくいわできずままであるす れかのしつるつううできているなどとは人妻をな 陽氣比到奏為大火婦媽又籍當一旅則奏能言之名 饭のよいろれる吃めるや又大吃のうしわのろいろう そいられてとうなをのろうかろかときんるかと 30

討

アニナニし

鬼具

をかくしろが出物をみですべ

きてくいれて蘇致の女の ちのかりまるといれたとうころしいはあること

宋不三八年的十 今天次八意 なのけれてそろうべきがりきくいっているわってい そくなってくまかれいとのとうさするにちいた さくうなく又を中のそういのなるなからかくとく きょういろかくらし

左膝多

党文

けんゆうでねらのになしてんろ 太

時子子の智子子のを比較 大ないのからへそえてうまいる。ちいろべちれいにある をいるからいとのしいったろうるというかであけて やしているとしつい又方の飲るちょうろうかくりれ

三十二

うつとうらってうときくく用れり

110

到山家~ 你去吗

かんき

不好のからみては多うくけるない

事多家一品和

一方れる一味多年 岭を吹くる つめはってもくまるしてもまはるとして て用はしているとしんのおきまうしてきたと なするのなるようしよろれておくなるをのれ からはめってるるとへともはとるれらいはをす

学二十多~ はあるはうあおけやっみてもできたうち

農文

一方 你不不不好多了

たなのなりけるでるのでもんでしるきり あってすると、あるつくとぬき、はおら おくれってくれるとくかるますい

柳、衛豆和青潭你毫判

考察屋了句太 予二智 サーる まってういるなの行うちし 朝のある本はさろられるかろうかちてある 女はのはくろくうれてある というまれいましていけないとういういろ 左膝 かくしますらちの以上お客 日のおそうろうくめてらくけれて大人をかのるの ならくらつですることからるれてりきますすりてる たのおうまいるなのれるちゃっているらますくから 加加 引きかれるるれてとあるる なるる

そわかりぬ干物の本同るろん

そうそれ同うとの多け 红色 友然 た子物の本向とまするあろうろけしむなるろ もいかして 国うとのきおとれるるかろうかけらいれましいも

外之名

ちとうる愛障」をんくことう

かいのく吹く 青初明く香で やるいちくちくるるなれてといっとたべいけのの

少でる をはいるかくれためも大生できるのかりてきて いつとうくなくないっけられったるのはそくいれい うくなですからいるかしてもずしゃんのうけらる 段もってくせくる人さくくのないすう思連れ 一一ちゃかれてくろいかりゃくれているのあれ

左 * *

わっていわつてしちられるへろうか

ほちやくこれるをもちきれる 致うれってのするいってとかしてあく又ばらさい 方のころにしてめのいとしなりこくと対はら

一十二

あっくところいしくかかっちろ をちのからまいろけましれむつしけるいい

左孩

まる了小智の爪本は答める

ちるいけれずりあけてくてんるそ うりの又ならぬなっちのかしくとにはろうるでして そいかろやからのだったまのはろしをからるなれ かやきくそれよりこから爪あっているいで山東的 をかくうるをはているというというというと ちゅうのもはる 左

中古人

さらる物が多人みがを以きす

千大紀子先奉令 多了如公之 おくれてを作らるとはか かそうてしかくするからかりかしてけずたくまの 福うゆうぬさらしてんくうたくうれい日れいない おけしきっとおうとけれてきちねのくかもうかる 豆をいまくりれていているり一だの気のちてうあんかっ

京の左 京 まる ヨーノ

一十二

妈の分学性のほう 子院了

ナハー 智此了多年 強如一品出松本乳 むってきるけるすいの四十かくてひ、多又他れいの ふっ彼大橋とれずるいりてやいかいれてうる大木 うとの大本るとくというとあたけいろきるまでいる なくくとしているしたはるり柳を莫の野にしきしると いまれて、金い 年まられる

かかったるかうだしれどんえ

左

打人山林を る 日天客

サナイ 美丽了了我说了了我 あるこうまなさいとうとくんとうなるといろは まるないからいないかろうて るといううちゃくっていたれているのだろうの る一方面面社務等等 すけかかっかりをくまういっかっとかるかのかいろ 长五分三年生五人日杨清巧西南上坡太上八八八年八八日 である。後天中からいとのかとれるというところ うしかいとなんのあるのともろうちょう 天大工るですべからかれない福元のかくのはよのない 日は後くやすりしないとうこうちゃところいってい

るれやきにあするとうはるからる 大十一/ ようなでもうちゃくのねけいる中, は名としいっとくれる 去ろうしてはした」とうくいきまくうきそのちならけ えているういのちられなりをそく大はとゆうして して利相ときしいるはの女となかかんなかれてとり お教国のかってういいるをきなの二十つとうかって る太陽とういるは、ましているちれて、あるため、か でしたなみのはないられるなるではんしていくとくと ういちまってのまっていたんやくるるとくろう はなくれてはない 以大声的物心的 そやらい

女とやちょうくわうかうこうけるよう

オーナート 以必れなかけすけしょうかん との下女のよみくろうてあるーとつきった。一つ ますけんべはれてくてけられてよるい方とない ちなっていのいろうやいかくまでありいつとかん こうないかかいかけるだろのでかうたれがない けずだとやあいろうしののちく又山めのはくすてくく ときるというい

左陽

本人あけらてにあのはありうきのに

the filter

を行めなりむくったるーハラうして 我うとかやもまかりたっうれのはる サナニ としている本はかろくしまちと そうろくとりもっとうところになっていてもうから そうしくとなったといのいるでいっとう 有の気かっていいっきてうしかいむとなるかでかっ 血いいろうちころとそうでしていくしょめいいくだっ たる本のかろくらいでしてやすしたのうかりたっちれ

古るはや的りて七人子城大松 ありはらきかりけゆくくくてとものちまなないし おからえりとすのろれとしている サナル~ 木贴 けるうかうでも見まめまでもしてきゅうぞう うなはむきろう うめるらいいきのかでお妻ます夏秋一日季というち やれてくきしいありられいカフラヤナからあれ らうもあくらるとうできたける個年上 左

左

里等のもうりるずめらるでからい

太陽

えいらうらて多路時子自坐生

ましきっそ上るみなかりてしるとつうくずのはっち 里年無多てきない。内山の夢自然美族はのであい んていうるへいや他自然石自然不かのまっとううう 内はして

大十二、 防

ないなっているあるのかけてくるよう

見便の信尽了や梅丁のまでを食い 大大

たのるとすえぬするとなるといお子のれずしに出し から大なるをしてあるといわらいながのはそ 場のなうけってあっておるろうくなるあるのろうろ ノりのままねていせるとうけはぬの苦みるれま はろうかかくけれ

左赌

高いの面お事のすとくという

えるうち本うけけ再子なし きるいくとはそからつうかれるお暮のすとして きさというかりを味は、あのちと一体をする

平

山中門

かしたうまするこのできるからはなんし ゆうされてて木ろうけの耳るとしてとうろのあれさしまう 部

老大了人本中人力的平平

るいてき樹しを樹めるて日

小又なったはしとってんとうれい

ちのちらはいいるではくますら けれてもかなりてきなしくないとかけっかくるべちゃろ れる感情な構の論いいのやよれるといるの中となるよう 一多腹の句のなってかをはしておうしてるかくるお めりあるのけのをめば白いおいてまはらゆんかれます

オールー

なっちりいきがのもすいくととう 方 对

えて年やの子る人のいろり 尺之對一人致多 ううちゃれらいようかするけてゆちゃれるされる のううなくんというれてきなからかられて そうかりれされてて一部むくしいかいら内のかとかってを秋 いさこうしゃのなりは一部のみのくしてぬぬるもうつろ

第二十 ~

平

三十

おかはめるはいればらなのですりへい

山方的月湖至了四百八四两 杰 ちのもは夫なかのからいいはなっていないなところしている のいってくくうでいますとういれいあるおしれるの おうかけてうでかのはのるれずいしきましたいか さんかしかいからるは、あのりい随意をでるかいち

大三十一下の一年を入るのようにいる 左脉

本うかりいゆきなったちゃくろろっても

老やいちるう ちめい埋本

田をからいかきますりもあのは本ではつい サンナニー 支付ら行場のほ 九松 なる人はあるようやしするできたの

そううしゃねはるかればくられるう

タニナニー うけからいますう ふるけるんふっ ないるおいろうかなかやっくん というららいるられるらいるらなのもからえとしくであ 又からうちらいかあるなけしむるにとゆうちんし かくろむのかくうういく遊りるのものもっちりも

左脑

起しいすのる性あるるるいると 太太

アーナロー がいかのととしかんてんのかんいるとくとう 味,切以酒煮以油煎則味愈厚シト云り此方賞歌名へし、 殿八性ラ話レカンテンハ文字ラトク情補献を拘二日ク毅八風

三年 おおになるもないなくいる

大ねせつばるりとうしてんん 加加

での方差男做作了 多かな ちのるからろうなのれよいけいろちにしやけし

オニナるよりとのかかってくかりっちょういっ ちの中北回国三便り一多のち竹又水で

左右

そのかるかいたしくうりるける

男のそのなる中のは同町へろうさんとう 脂力にきかまるやるうともろ れてとられ 衛内の方のではかるようとからいくとくまだら

かくらいろあるれいなけてすけっとうがはまっとう けんほうとろうといるいるはるは人才を文むとい

変し内しに対かり今らにもめの行しとなら二十五名 め句でとうでするかかくうかってなったるではれるいと するるいははくつけてそとくとといいのかいないうつく そうへし情な回は回时のけてくれるようまですかのの 且これ了名分之時要なて気からは一代とかんろは きの中は芸る一月のめから前のなるまからうといく すいのなくるしてようあまするとうころうかの でしているとするとうからでて今かはそろのとい が他をおそそてかいろうるかったられないまとうな 行できのゆるあるなうでいてさいけっていまく ためかしのなるとくけらりょうしていいから くたりというとうとくかりそくくないんというい

かそみん

于附近家八原中季秋日

必常とかる

等桃園

冬秋夏

777

注册

と手に

中平

酸の系

判者四人。

冬秋

夏

煮堂

湖湖春和 桃青

干河边营入克中奉秋日 **拟**者

四季之句春

其角 オル 不ト

なつこのあなっちゅうかっちゃうれ 左方為茶 子力をそう 水砂 招傷

二多 左肠

この治の一ちのとけくのうとうからっちんとてる中国

えるかなれるとするとうちこれなれるをから

べくちゃれるのからなん教」とおくでけてなっ

たのるをはぬるりですりの又上とかっというか

記しるけるかれそかろからうる 候石

-

川ナル

いいと何い失えるなりかし ものはあんうちょうちょうかん ものできぬいるのけしるのすくとくちゃくれあってつれやれ 五方 大學一批中了了了八分分人 おなられれる同りのアー 多面是 五九八人。大年本 多宝子为积之了一个起来自 三篇 左抄交 三名自名文明同中中中十八人大 たのうとするとはくるないいろうちんちんろいろ 左 でいっていることのですれた場のするでよくみて るかでわるうしのいおよろ ひのう本社の次書でるあれいろとくしているいろい 二方をからいとう いくのもあしなくる人お人のなられってりきまかり るめなれいかけられて けるといわかららかのいこのうとはしてからのる あれるかやりろとけん そいとういきのとおのちまくろうである りたけるしぬと又物やるいとまるれるくけれる 方。はそれなくかと人時行るる 有品品的 林中 一四十七十二年 弘 勇指 文餘 相似

F

和 ちのないとちとのけるのろがとたおろくとくちん てき ちのもえきてきるすのいろおお はくてやらりするしをなかんとは うろあのゆうからめてかられる人 れぬるううとれりましたを 大名人 林寺子 明 人的吃了一一 るそをなれれかろうるさは 野くくるると平ちり始なうれ ないないなく あるり かりうと かえらしろのれの出するちてませいやするけっき 1/2 力 するうちのありようとうのかまりいしちありくって とするとかりのうというとやりくけつりなしと 左版及系 左路 ありろうなるるとまる心をめつくうしてやっし くのきぬるのためしているれりたれてくれるのから ろんさいるからし なのりくさしくまけんさくくうべんのちくをとい あってのけしきをすりかのはらうけるといいれいい日本 一大 以上之十 ゆんおう 杉 応見切する。 烟代 9 鱼次 がが 物种

いたいかんのちゃん

八名

九地粒

ゆうまるおちゃきうからふ一排 太小

九ちのからからうとうないいれるは 门用之宝在至一切了山枝以 答师 いいおうさうねらのうからけってはてくからてるから れいれぬりたしてるないいかならいをする 宝んのふきはましくかしたける

ろうちくてかるとれたいころの 本の たおうれ

事你人吃了我了好的人 如 仲於 いるとうできていること 到いる成でのおえれんまくしくうかくている くしんなまい日のさかとそうすしいでとかのる私 ろむくうさんはうけんとうつのたろうとのなら再たる いったゆいているうとい、ような、又からうつれった 沙水

十 友 牌 作品 計一九十十十十十五十五分 ゆうちゃくを彼はすりやうん 大来 右

知然屋

+

き置るがなれる野り それの事かかとしまるいるめとうことで くるまなの見くめの動物のいちょうこう 半うえってあるめてもろいろしている るられてくりいりるまくろううしまさや さとくななっていろいくれぬするちて後をやるい ろうしもはそろけぞれるしてるまとはくくって さつる無でおうかいかうるくいもく又人をねし そさかしいられいというこうちあれるい するとうとくなっていることのからい くるまれきくちのいるかくうでもあるるい No.

